

2017今年の注目！企業・人物・製品・技術



「コダックブランド復活の年に」と藤原社長

完全無処理サマーCTPプレート「Kodak Sonora XJ」の拡販で昨年、大きな成果を挙げたコダック(藤原浩社長)。検査における信頼性を高めた新バージョンのリリース、さらには国産化の体制も整い、今年はさらなるシェア獲得を見込んでいる。一方、コンシューマビジネスで培った資産を活用した新たなブランディングのもとで、今年同社は「Kodak」というブランドイメージの「復活」を賭ける。今回、2017年の開幕に際し、藤原社長にインタビューし、その具体的なソリューション展開について聞いた。

「5倍成長」達成した完全無処理版

2016年の印刷産業における最大のトピックは「drupa2016」の「KODAK」ブースについて、多くのメディアやユーザーから「ストーリー性のある展示だった」と評価していた。コダックが印刷業界に広く知られるようになったのは、drupaで発表した「KODAK SONORA XJ」の急伸である。XJの拡販に注力していき、世界最大のプロセスメーカーが日本から誕生したほか、サマーイメージング技術の発表21周年、CTPの累計販売実績2万1000台達成、さらには、Filex cein Xデジタルレキンスシステム販売実績500台達成といった記念セレモニーも実施し、傾向として、多くの販



「Kodak」の拡販で昨年、大きな成果を挙げたコダック(藤原浩社長)。検査における信頼性を高めた新バージョンのリリース、さらには国産化の体制も整い、今年はさらなるシェア獲得を見込んでいる。

「Sonora XJ」倍増の拡販へ

一方、昨年の当社における最大のトピックは、やはり2015年に発売した完全無処理サマーCTPプレート「KODAK SONORA XJ」の急伸である。XJの拡販に注力していき、世界最大のプロセスメーカーが日本から誕生したほか、サマーイメージング技術の発表21周年、CTPの累計販売実績2万1000台達成、さらには、Filex cein Xデジタルレキンスシステム販売実績500台達成といった記念セレモニーも実施し、傾向として、多くの販

国産化の体制整え、製品競争力を強化

なるの耐用性を確認。オフセット印刷の「刷り出しの早さ」は損紙の削減につながる大きなメリットが享受できる。

「UV適性」技術は世界標準へ

Sonora XJの国産化の体制づくりはほぼ完了しており、今年からは「Made in Japan」のSonora XJを群馬工場から供給される。

国産化のメリットは、やはり「日本製」という安心感。実際、コダックのプレート製造工場は世界に4カ所あるが、ベトナムの結果、品質、効率ともに群馬工場がトップである。

さらには、開発面でも有利になる。日本に中核と

必要とするユーザーでの採用が増え、今年後半から日本市場に投入できる見込みである。

一方、昨年の当社における最大のトピックは、やはり2015年に発売した完全無処理サマーCTPプレート「KODAK SONORA XJ」の急伸である。XJの拡販に注力していき、世界最大のプロセスメーカーが日本から誕生したほか、サマーイメージング技術の発表21周年、CTPの累計販売実績2万1000台達成、さらには、Filex cein Xデジタルレキンスシステム販売実績500台達成といった記念セレモニーも実施し、傾向として、多くの販

もひびく大きな要因は、高いUV適性にある。我々は、世界に比べて省電力UV印刷で先行する日本市場において必須であると考え、発売を遅らせてきたそのUV適性を高めた。

現在、省電力UV印刷機でのSonora XJの使用比率は、従来品の無処理版であるサマーCTPプレートからの切り替えユーザーを除いた昨年からの新規ユーザーを対象にすると約3割だ。市場の省電力UV印刷機がおおよそ1割程度であることを考えると、Sonora XJがUV市場に浸透していると言えるのではないだろうか。

この「作業性」という面では昨年、信頼性を1.5倍に高めた新バージョンをリリース。これまで検査における信頼性の面で躊躇していたユーザーの要求を満たし、これが大きな追い風となっている。

また、オフセットの採用も増えている。当社でも実績を積み重ねながら

「Kodak」ブランド復活へ BtoCビジネス期の資産活用

は、ワールドワイド製品として「Sonora UV」が発表された。これは先行したSonora XJの技術が盛り込まれており、その「UV適性」の技術は世界標準として輸出されていくことになる。その面でも継続的な開発に自信を持っているところがあるが、我々の環境が日本企業と何ら変わらない。昨年、信頼性を高めた新バージョンを発表したが、この製品強化は今後も柔軟に行っていく。

「drupa2016」で「Print4.0」実現のために

「Print4.0」実現へのニーズは、全世界で共通認識として存在する。しかし、これは「日本発」ではない。法人のCOOとして、ERP (Enterprise Resource Planning) ビジネスプロセスを提供するものな業界の目から見ると、スタンダードにはま

「IoT」や「AI」へのニーズは、全世界で共通認識として存在する。しかし、これは「日本発」ではない。法人のCOOとして、ERP (Enterprise Resource Planning) ビジネスプロセスを提供するものな業界の目から見ると、スタンダードにはま

「IoT」や「AI」へのニーズは、全世界で共通認識として存在する。しかし、これは「日本発」ではない。法人のCOOとして、ERP (Enterprise Resource Planning) ビジネスプロセスを提供するものな業界の目から見ると、スタンダードにはま

「IoT」や「AI」へのニーズは、全世界で共通認識として存在する。しかし、これは「日本発」ではない。法人のCOOとして、ERP (Enterprise Resource Planning) ビジネスプロセスを提供するものな業界の目から見ると、スタンダードにはま

「IoT」や「AI」へのニーズは、全世界で共通認識として存在する。しかし、これは「日本発」ではない。法人のCOOとして、ERP (Enterprise Resource Planning) ビジネスプロセスを提供するものな業界の目から見ると、スタンダードにはま

「IoT」や「AI」へのニーズは、全世界で共通認識として存在する。しかし、これは「日本発」ではない。法人のCOOとして、ERP (Enterprise Resource Planning) ビジネスプロセスを提供するものな業界の目から見ると、スタンダードにはま

「IoT」や「AI」へのニーズは、全世界で共通認識として存在する。しかし、これは「日本発」ではない。法人のCOOとして、ERP (Enterprise Resource Planning) ビジネスプロセスを提供するものな業界の目から見ると、スタンダードにはま

省電力UV印刷対応完全無処理版

KODAK SONORA XJ

プロセスフリー プレート

Sonora XJ

Process Free Plates

世界最強タッグが小ロット印刷の環境を変える。

Achieve Platesetter

KODAK SONORA XJ + KODAK ACHIEVE

処理薬品が不要 薬品のランニングコストや廃液回収コストが削減できます。	ローコスト	低コストで高品質 独自の技術を活用し、新開発ACHIEVE専用サマーヘッド「TH5.0」を搭載。
自動現像機不要 工程が減るのはもちろん、作業スペースに余裕ができます。	コンパクト	省スペース KODAKが誇るロングセラーCTP「TRENDSETTER」と同じベースフレームを採用。
廃液、廃材の削減 廃液、廃材のコストを削減できるだけでなく、環境への負荷も軽減します。	エコ	消費電力64%削減 イメージング時のピーク電力はわずか400W。これはオフィスの蛍光灯10本分と同じです。

コダックが、皆様の印刷環境にベストなソリューションを提案します。

KODAK

世界で最も広く認められているコダックのシンボルマーク「K」マークロゴが復活します。コダックは、これからも社会への貢献ならびに皆様のビジネスの成長を支援してまいります。

コダック 合同会社
〒140-0002 東京都品川区東品川4丁目10番13号
TEL. 03-6837-7285 http://www.kodak.co.jp